第12回 健康寿命をのばそう! AWARD 優良賞

保険局長 優良賞

「リモート健康管理室」による重症化予防3つのStep ～見て・聞いて・押して～

受賞者 **日本NCR健康保険組合**（東京都中央区） 取組アクション

適度な運動 適切な食生活 禁煙 健診・検診 その他

●「明日倒れるかもしれない人」を一人でも防ぐために！

背景・概要

2017年に医療費の増大傾向があり、また検査値の悪い人のレセプトがないことから、健保の顧問医師と緊急性が高い人を「明日倒れるかもしれない人」として抽出し、早期介入することにしました。検査項目は血糖値・血圧・脂質異常の3つとし、再検査勧奨をした結果、この対象者の75%が再検査未受診であることがわかりました。

取組内容

毎年重症化予防の対象の項目を追加し、現在は7つの検査項目とがんです。2020年度より、健診結果をもとに4つのレベル（重症化レベル、即受診レベル、糖尿病性腎症予防レベル、がん精密検査）で対象者を抽出し再検査勧奨をしています。自身の健康度を正しく理解することが疾病予防への第1歩と考え、健診結果が意味するリスクを認識することでスムーズに再検査へ促すことが可能と考えました。また、対象者の病識には個人差があることから、勧奨度合いも3つのStepとし方法を変えて準備しました。

●再検査に向けた行動変容の3つのStep

Step1：見て

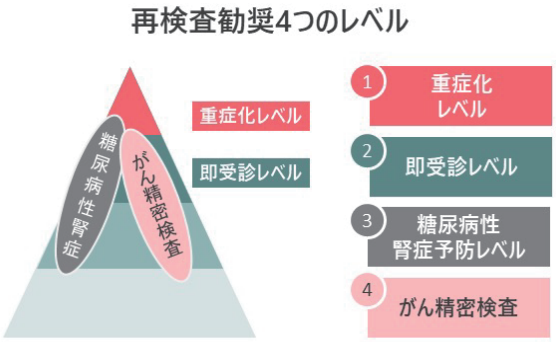
自分が見て、再検査すべき項目に気づくためのシステムを導入。「健診結果管理システム」から送信される再検査勧奨メールは、本人が「見てわかる」結果表示をしています。

Step 2：聞いて

リモート健康管理室から医療専門職が、本人に直接電話して病気のリスクや再検査の必要性をわかりやすく説明します。なぜ再検査が必要なのか「聞いてわかる」ための再検査勧奨含む健康相談を実施します。

Step 3：押して（押されて）

それでも再検査を躊躇する方や重篤な数値の場合には顧問医師とのWEB面談を実施します。またレセプトで確認できないできない場合には事業主人事と連携し、電話をつなぎます。「押してわかる」は医師面談と人事連携となります。







●双方向コミュニケーション

健保在籍中に受けた健診結果は全て「健診結果管理システム」に登録され経年で表示でき、加入者の方は、PC やスマホなどから手軽に健診結果を見ることができます。再検査勧奨は「伝えて終わり」ではなく、再検査済の方にシステムへの入力、または電話・メールでの報告をお願いしています。そして「リモート健康管理室」からは結果確認後も健康サポートが継続します。こうした双方向のコミュニケーションで重症化予防の効果をあげています。

成果

再検査受診率は、2019 年度の 42%（3 項目の検査項目）から 2022 年度 65%（7 項目の検査項目）にアップしています。

評価委員による講評：井上 茂

健康保険組合が事業者と協力して再検査・精密検査の受診率向上に取り組み、受診率を42%から65%に増加させた事例です。具体的には、対象者のレベル分けを行い、再受診を「行動変容」と捉えて3つのステップ（見て：わかりやすい結果表示、聞いて：電話連絡、押されて：医師面談）を設定し、さらには、受信後のコミュニケーションにも力を入れています。事後措置の重要性を認識して、この部分に資源を割いて制度化した上で、包括的に取り組まれた点が評価されました。

団体部門